

2021年6月16日

Board Japan、経営管理のDX推進のための知見と事例を紹介する「Board Day Japan 2021」をオンライン開催

「タカラレーベン」、「日清紡ホールディングス」がご登壇

経営管理・BIソリューションを提供する Board Japan 株式会社（本社：東京都千代田区、カンントリーマネージャー：篠原史信）は、2021年7月15日（木）に「Board Day Japan 2021」をオンラインで開催します。

本イベントは、Board International が毎年開催する大規模ユーザーカンファレンス「Board Day」の日本開催版です。各国での開催に続き、日本では本年初開催となります。

各講演では、経営戦略計画から組織内の各事業部のあらゆる計画を統合し、意思決定のスピードを効率的かつ効果的に向上させ、変化に強い組織づくりに寄与するテクノロジーや国内事例をご紹介します。また、業界の専門家を迎え、日本企業の皆様の意思決定の高度化に有意義な知見を提供します。

「Board Day Japan 2021」のお申込み URL：<https://www.b-forum.net/boardday/>

<開催概要>

- 日程：2021年7月15日（木）13:00～17:30
- 形式：オンライン配信（オンデマンド視聴有り）
- 参加費：無料・事前登録制
- 参加対象者：役員、経営企画、財務・経理、事業企画、FP&A、生産、サプライチェーン、ロジスティクス、DX担当部門の責任者・ご担当者の方々
- 主催：Board Japan 株式会社
- 協賛：KPMG コンサルティング株式会社、株式会社 NTT データ、アットストリームコンサルティング株式会社、株式会社ジール、株式会社 NTT データ・ニューソン、株式会社アカウンティングアドバイザー、株式会社クニエ
- 運営：株式会社ビジネス・フォーラム事務局
- お申し込み：<https://www.b-forum.net/boardday/>

<内容／登壇者（予定）>

■13:00～13:10 ご挨拶

Board Japan 株式会社 カントリーマネージャー 篠原 史信

■13:10～13:40 特別講演

JT グループのグローバル化の歩みと現在、そしてその先にあるもの

日本たばこ産業株式会社 財務部長 近藤 敦嗣 氏

- ・ 「グローバル経営」なるものの正体
- ・ パフォーマンスが上がらなくなる原因
- ・ 再成長に向けて財務部門が取り組むべきこと

■ 13:40～14:10 基調講演

迅速な意思決定および従来の枠を超えるデータ、アナリティクス&インサイトの実現像とは？

KPMG コンサルティング株式会社 執行役員 パートナー 後藤 友彰 氏

事業ポートフォリオマネジメントの普及や DX の発展に伴い、経営管理領域を取り巻く環境や最新手法が進化する一方で、迅速な意思決定を行うためのアナリティクスの基盤となるデータ活用の際に十分でないという声を多く聞きます。従来の枠を超えたデータの活用に向けた将来像、高度なインサイトを得るために必要な要素に加え、昨今の EPM ツールに期待することをご支援実績に基づき解説します。

■ 14:15～14:45 事例講演

タカラレーベンにおける収益の見える化ジャーニー

株式会社タカラレーベン IT 推進部 次長 武部 敬次 氏

Board で実現した収支計画の高度化ー膨大なエクセル地獄からの脱却を果たした事例をご紹介。タカラレーベンが実現している複数プロジェクト収支を一元的に把握し、速やかな情報の収集プロセスの構築により意思決定スピード向上させ、将来見込み、シミュレーションにより効果的な財務報告を実現した取り組みについてご紹介いたします。

■ 14:45～15:10 講演

製造業における経営管理 DX 実践事例を交えた、これから求められる経営管理システムランドスケープ

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 製造 IT イノベーション事業本部

コンサルティング&マーケティング事業部 課長 / マネージングコンサルタント 藤本 肇 氏

COVID-19 を契機とした前例のない不確実性に抗するために、前提条件の透明性が担保されている事業計画立案～先行指標に基づく着地予想～アクションプランニングといったマネジメントサイクルを高速で回せる経営管理基盤が望まれていると考えています。そのためには、計画諸元・実績がデジタルデータとしてアセット化されていることや、プロセスそのものがデジタル化されていること、社員/企業風土の意識など様々な要素で変革が必要です。NTT データがご支援してきた製造業のお客様における経営管理 DX 実践事例を交えながら、変革プロジェクトの推進ポイント、求められる経営管理システムランドスケープをご紹介致します。

■ 15:10～15:35 講演

VUCA 時代の今こそ進めるべき KPI マネジメント再構築 ～デジタル化によるマネジメントスタイル変革

アットストリームコンサルティング株式会社 シニアマネージャー 堀江 修太 氏

昨今、企業の経営管理は、ただでさえ不確実な環境下にありましたが、新型コロナによる急激な外部環境の変化により、より一層迅速かつ柔軟な舵取りを求められることとなりました。その「VUCA with コロナ」の時代において、「見える化」と「経営と現場の連鎖性向上」を本質とする KPI マネジメントの重要性は間違いなく高まっています。一方、日本の多くの企業では、既に何らかの形で KPI マネジメントが導入・運用されていますが、「有効に活用できていない」「十分に機能していない」といった課題を抱えているケースが少なくありません。本講演では、KPI マネジメントの再構

策を着実に進めるための着眼点と、マネジメントスタイルの変革に資するデジタル・テクノロジーの要諦を解説いたします。

■ 15:45～16:05 Board デモセッション【選択制】

【セッション 1】

Board で次世代の FP&A を実現

Board Japan 株式会社 ソリューションアーキテクト 海老名 拓馬

今日の経営企画・財務組織は、常にスピードが求められています。Board は、情報に基づいたデータによる予測と意思決定によって、経企・財務部門がビジネスをリードする組織への転換を支援します。本セッションでは、継続的なプランニング、部門間の連携、リアルタイム分析により、財務計画と分析の、構造、コラボレーション、精度を向上させる方法をご紹介します。

【セッション 2】

経営と現場をつなぐ KPI マネジメントプラットフォーム～KPI ツリーと関連データ・業務フローをワンシステムで～ アットストリームコンサルティング株式会社 シニアマネージャー 堀江 修太 氏

KPI 管理のシステムと言うと、BI を使った「見える化」を想像しがちですが、目標値設定、実績データ収集、集計/分析、レポート、アクション管理、といった一連プロセスをどういった仕組みで支えるのかを統合的に考えなければ、システムやデータの断絶が生じ、運用の形骸化を招いてしまいます。また、KPI の構造や管理指標はビジネス環境と共に変化するので、変化に追従できるシステムでなければ活用が停滞してしまいます。そこで、弊社では、Board ソリューションの柔軟なデータモデルと柔軟な UI を活かし、KPI ツリーと関連するデータ・業務フローを統合的にカバーする「KPI マネジメントプラットフォーム」を開発いたしました。当セッションでは、その概要説明とデモンストレーションを行います。

【セッション 3】

販売から PSI、生産能力まで連動した計画立案を実現 ZEAL S&OP テンプレートのご紹介

株式会社ジール インダストリーソリューションユニット シニアマネージャー ユニット長 中垣 雅博 氏

- ・ 株式会社ジールのご紹介
- ・ ZEAL BOARD-DX ソリューション
- ・ ZEAL S&OP テンプレート デモンストレーション

【セッション 4】

デモ：小売業向け予算計画テンプレートのご紹介

株式会社 NTT データ・ニューソン デジタルソリューション事業部 ビックデータ統括部

ビッグデータ技術担当 課長代理 寺崎 裕規 氏

小売業における販売実績をもとにした柔軟な予算計画の作成とワークフローを使用した予算調整サイクル(店舗、商品軸)の一例をご紹介します。

【セッション 5】

FP&A 領域の業績管理機能～単体予算編成からグループ経営管理まで

～単体予算管理テンプレートと連結会計機能をオールインワンプラットフォームで～

株式会社アカウンティング アドバイザリー マネージャー 米国公認会計士 金坂 美佳 氏

EPM のシステム機能全体像および Board 連結会計機能（BFC）について簡単にご紹介した後、予算編成のプロセスにフォーカスしたデモンストレーションを行います。弊社で提供予定の中堅企業向けテンプレートによる単体予算管理から BFC による連結業績管理まで Board オールインプラットフォームでシームレスな機能として提供します。

■ 16:10～16:35 講演

今必要とされる Accounting、FP&A 部門のイデオロギー破壊 ～DX 推進、その前に～

株式会社クニエ ディレクター 鈴木 哲也 氏

株式会社クニエ シニアマネージャー 野瀬 裕太 氏

DX 推進というキーワードを多く見かける昨今ですが、日本大手企業の実態は 2025 年の崖問題に象徴されるように既存システムの運用保守に手一杯であり、前向きな DX 投資に IT リソースを注ぐ余裕がない、という会社も少なくないと思います。その背景には日本ならではのシステム構築手法、経理・業績管理部門の要件をひたすらアドオンで対応する慣習があります。また、業務部門全体の IT リテラシーが不足していることも要因の 1 つです。IT 部門任せではなく、Accounting および FP&A 部門も自分事として捉え、意識を変えて IT リソース枯渇問題に取り組む必要があり、そこに対応しないとその先の DX は見えてきません。本講演では、当該課題への打ち手を、実際に改善に取り組んでいる事例を踏まえて発信します。

■ 16:40～17:10 事例対談

日清紡ホールディングス × Board Japan

グループ経営管理 DX ～ファイナンスとオペレーション計画の統合～

日清紡ホールディングス株式会社 経営戦略センター 経営戦略室 専門課長 横田 謙 氏

Board Japan 株式会社 セールスディレクター 岡城 俊介

新型コロナウイルスのパンデミックは社会・経済の隅々まで影響を及ぼし、人々の生活様式を大きく変化させた一方で、脆弱なサプライチェーン、正確性に欠ける情報、多様化する顧客ニーズへの対応など企業の多くの課題が浮き彫りになりました。この大きな変革を生き抜く為には、経営データを正確・迅速に集め、分析、将来をシミュレーションする基盤の構築が急務とされています。日清紡ホールディングス様のご担当者をお招きし、ご検討の背景からご決定・ご導入に至るまでのお話をお伺いしたいと思います。

■ 17:10～17:30 ラップアップ&クロージング

Board Japan 株式会社 シニアセールスディレクター 沖野 元司

※講演のタイトル・登壇者・時間配分などは、やむなく変更されることがあります。予めご了承くださいませようお願いいたします。

【Board について】

Board International は、1994 年に設立されたスイスと米国ボストンに本社を置くソフトウェア企業です。Board Japan 株式会社は Board International の子会社です。企業の意思決定を支援する経営管理（EPM）、情報分析（BI）及び予測分析アプリケーションを一つのプラットフォームで提供する Board は、業種や業界を問わず世界で 100 か国以上、3,000 社以上の企業に導入されています。Board の経営管理プラットフォームを活用することで、正確で包括的な事業データを一元的に把握し、経営戦略からオペレーションの実行まで企業全体のパフォーマンスを管理することが可能です。Coca-Cola、H&M、Puma、三菱電機、NEC、リコー、KPMG、Siemens や ZF グループといったグローバル企業が Board を導入しています。詳細は www.board.com または、www.board.com/jp をご覧ください。

Ends